

当麻町

土岐 友哉

1. 当麻町の概要

当麻町の名前の由来は、アイヌ語の「ト」(湖沼)、「オマ」(に入る)、「ナイ」(川)から由来されている。ナイが落とされ現在の読み方になったが、経緯は不明である。(北海道の地域の地名はアイヌ語から由来している場合が多い。)

当麻町の人口は 7,893 人、面積は 204.95 平方kmである。人口の関しては昭和 30 年のピークの時と比べて約半数まで減っている。やはりこれは地方都市の過疎化が影響している。歴史としては明治 33 年、永山村(現旭川市)より分村、村名を当麻村とする。明治 34 年、永山村戸長役場より分離し、戸長役場を設置し、明治 39 年、二級町村制を施行、村名を当麻村とする。大正 8 年に一級町村制施行となり、昭和 33 年に町制施行される。

当麻町の位置としては上川管内の中央部に位置し、旭川市の北西に隣接する農業のまちである。米作を中心とするが、花卉栽培にも取り組んでいる。また施設栽培のキュウリと菊の出荷は道内トップクラスで、メロン、スイカの栽培も行われている。

地域としてミニバレー、バスケットボール、テニスを始め、当麻町は各種スポーツ活動が活発に行われており、その水準も高い。町はスポーツ活動を通して観光活性化や町民の福祉と健康づくりに積極的に取り組んでおり、「日本一スポーツ活動のまち」を目指している。

また町の中央部に、小高い当麻山(標高 292m)があり、一帯は「とうまスポーツランド」として整備され、総合グラウンドを始め、野球場、フィールドアスレチックなどのスポーツ施設が整備されており、キャンプ場やログハウス、コテージなどの宿泊施設もある。「世界の昆虫館パピヨンシャトー」が隣接する。

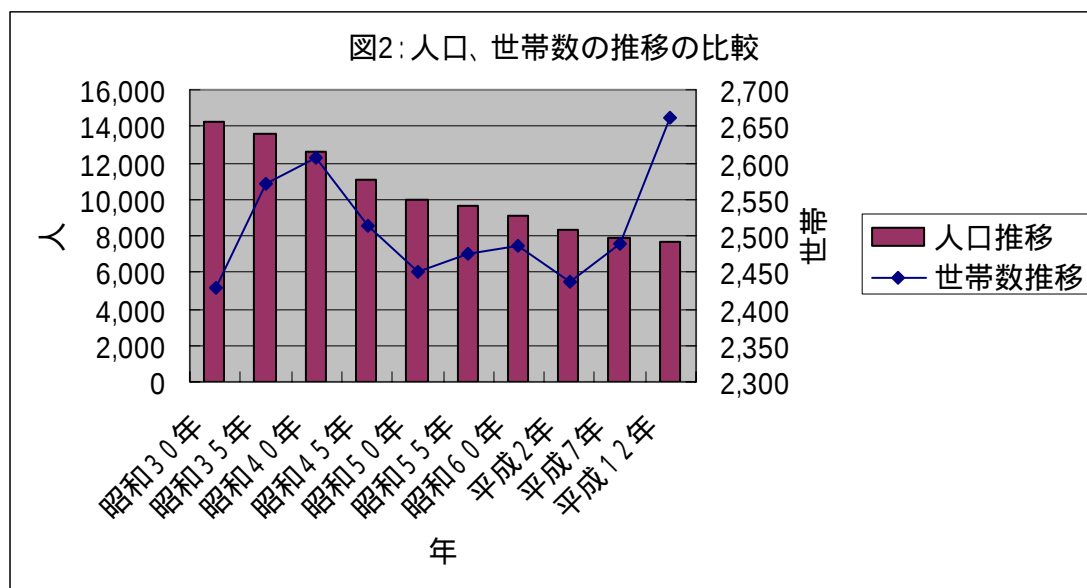
1.1 当麻町の位置

図 1：当麻町の位置

中核市「旭川市」から北東へ約 15 km、車で約 30 分の距離に位置している。山と河川に囲まれ、南西部から北にかけては山林地帯を形成、自然の丘陵が起伏しながら大雪連峰に連なっている。比布町との境を石狩川が流れるほか、支流の牛朱別川が町内を流れる。当麻町の緯度、経度で見るとは東経 142 度(142 29 46.2)、北緯 43 度(43 50 08.6)の上川管内中央部に位置している。札幌は東経 141 度(141 14 46.7)、北緯 43 度(43 10 08.3)なので約 1 度の違いがあり、実際のところ 4 分の時差があることがよみとれる。



2. 当麻町の人口・世帯数



(出典：国勢調査 HP)

この人口、世帯数の推移の比較をみていくつか気づく点があげられる。まず一つ目に人口のグラフの視点から見て、昭和30年のころの比べて大幅に人口が減っていることがわかる。理由としてあげられるのは過疎化である。過疎化は高度経済成長以降に見られる現象で農村の若者たち（若い労働者）が都市部へと移り、その地域の人口または労働力が失われてしまう。現に当麻町の近くには旭川やもう少しいけば札幌の都市部から近いことから推測できる。また二つ目に人口が減少しているが近年世帯数が増加傾向であることである。これは昔の大家族の時代に比べて核家族の家庭が増えているためである。

3. 産業

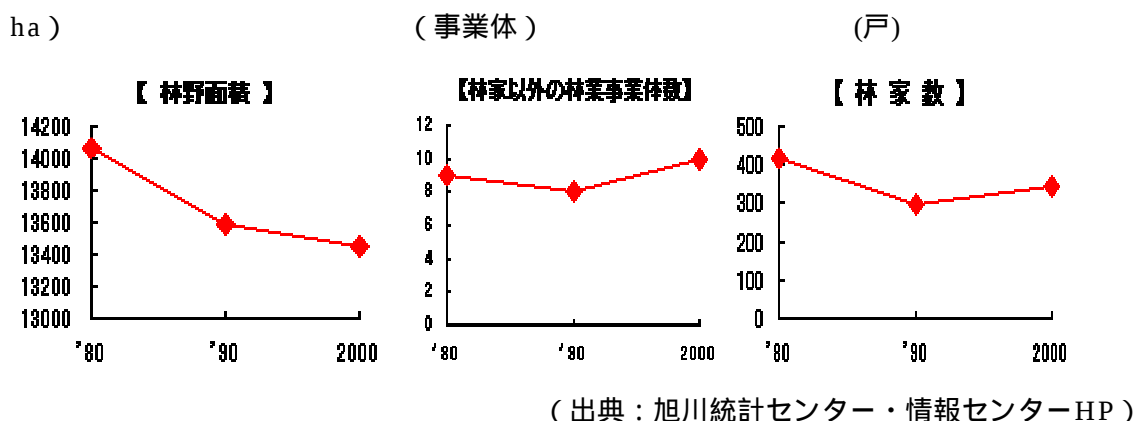
3.1 農業

当麻町の農業は北海道内でも盛んな方であり、メロン、スイカなどの栽培が盛んである。その当麻町の農家数をみると、まず農家人口は全体で2891人（男 1385人、女 1506人）。農家数は798戸でありその中で自給的農家は127戸であり 販売農家 671戸である。また主副業分類と専兼業分類とで区別してみると、主副業分類→主業農家は333戸、準主業農家が108戸、副業農家230戸。また専兼業分類→専業農家は165戸、第1種兼業農家265戸、第2種兼業農家241戸である。このようにみると当麻町の人口の約三分之一が農家であり農業を主体としているひとが多い。また販売農家が多いのは当麻町の特産品であるデンスケスイカやメロンなど、全道的にも販売数が多いのでこのような数になったと推測で

きる。

3.2 林業

図 3：林野面積・林家数・林家以外の林業事業体数の推移

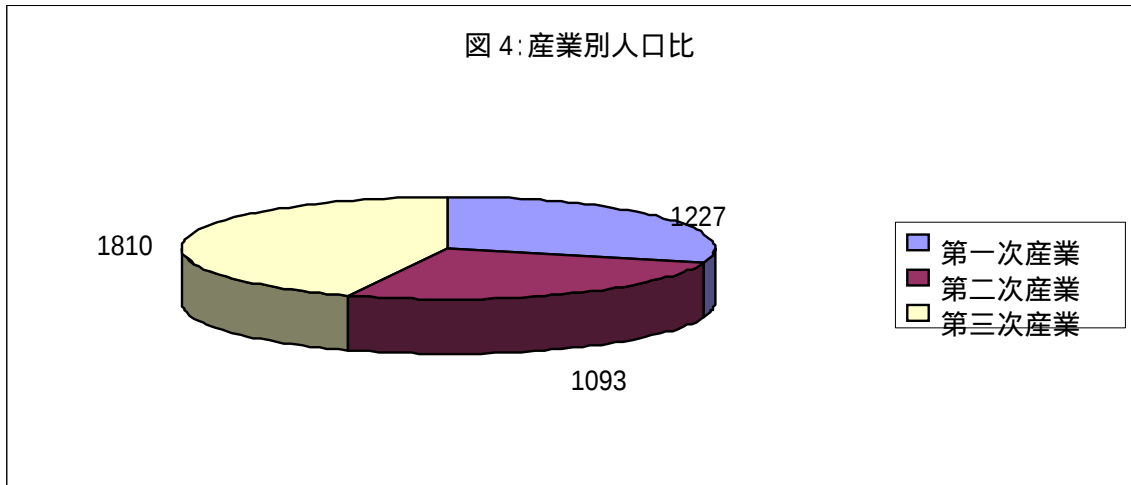


麻町の林業は全道的には普通といえる。このグラフからは林野面積が 80 年代のときに比べて大きく減少しているのがわかる。だが林業事業体数が少し増加しているので、森林を活用した事業が展開されているのがわかる。林業の世帯数も 400 戸近くの世帯がある。ここから前述であげた農業と関連づけると当麻町は第一次産業の割合が多いことが推測できる。

3.3 産業別人口比

前述に述べたが当麻町の産業割合は第一次産業に重点をおいているのがわかる。これは地方の特徴でもある。旭川、札幌などの都市部では第 3 次産業（サービス産業）がとりわけ一番高い割合を占めているが、地方の場合農業、林業に従事するケースが多いのでこのグラフのように第一次産業が高くなる傾向がある。一般としては第一次産業 < 第二次産業 < 第三次産業の順に高くなるが、このように第一次産業が高い場合は第二次産業より高くなりやすい。これからの推移を考えてみても、当麻町はでんすけすいかななどの特産物などを売りに地元の活性化を起こしているので、第一次産業の割合の変化は変わらないだろう。（増加はしない→過疎化の農家離れにより）

図 4: 産業別人口比



(出典: 上川支庁 HP)

4 . 当麻町の特産品

当麻町の特産品として、スイカのでんすけすいかが有名である。昭和 59 年に減反政策のため、ヨーロッパ原産の黒皮種と日本のしま皮種を掛け合わせた「タヒチ」という品種のすいかがをなんとか特産品にできないかと、若手農家達が栽培し始めたものである。「でんすけすいか」の名前の由来は、その真っ黒な見た目から「デン助」の舞台名で知られた喜劇俳優の故大宮敏充さんにあやかっただけのものであり、また「田助(でんすけ)」ということで減反政策に苦しむ農家を助けるという意味も込められている。平成元年に特許庁に商標登録されてからは全国的に名前が知れ渡ることになった。昨年の初セリでは 1 玉 25 万円の値がつくほどになり、また某テレビ番組の特選素材として取り上げられている。

特徴としては、まず見た目が従来のしま模様ではなく真っ黒な外観であること。切ってみると、紅赤な果肉のみずみずしさもさることながら、隙間なくぎっしりと身が詰まっており食べごたえも十分である。糖度センサーで 10 度以上のものしか出荷されないため、とびきり甘いのが特徴である。大きいものでは重さ 10kg を超えるものもある。



5. 当麻町の観光

当麻鍾乳洞・鍾乳洞グリーンパーク 当麻鍾乳洞は、昭和 32 年石灰岩を採掘中に発見された。本洞の規模は、全長 135m 高さは 7~8m で、上段、中段、下段に分かれ、五つの部屋がある。昭和 36 年に北海道の天然記念物に指定されている。本洞にある管状鍾乳石は、直径 5 ミリほどと細いが、根元から先端まで直線上で中がパイプ状になっており、学術的に世界でも珍しいもので、マカロニ鍾乳石と呼ばれている。

鍾乳洞に隣接して、鍾乳洞グリーンパークが整備されており、7 つの森の散策ができる。

世界の昆虫館・パピヨンシャトー 世界各地の代表的な昆虫、日本に生息している蝶のほとんどを展示している。「昆虫館」は標本の展示のみにとどまらず、生きた昆虫の世界を体験できるよう、自然と同じ環境を再現した「生態観察室」も併設している。また、美しい昆虫の写真もパネル展示している。 パピヨンシャトー ↓



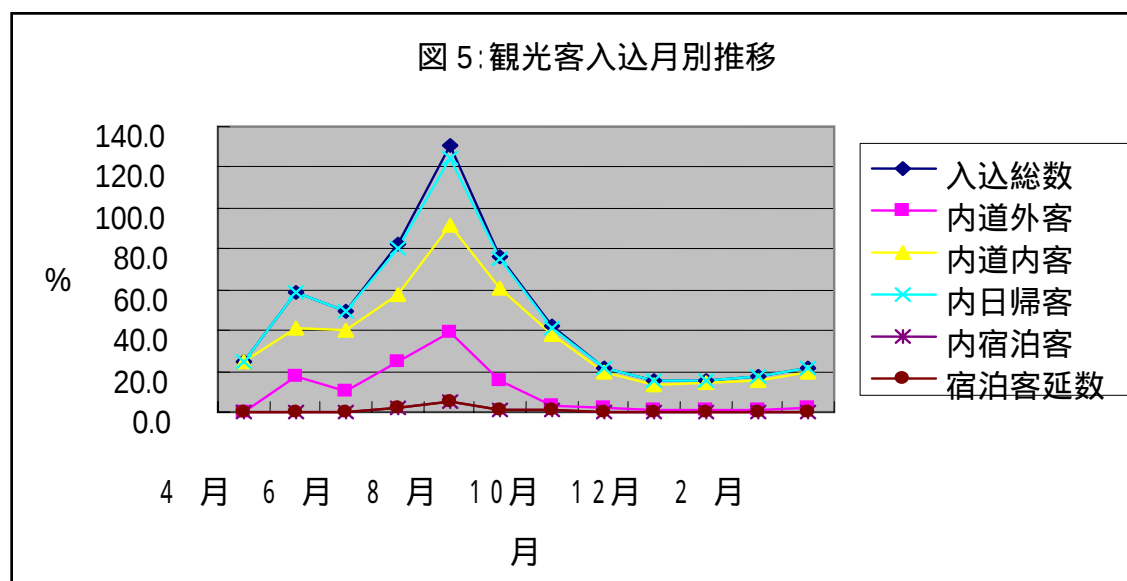
鍾乳洞 ↑



(出典: 当麻町観光協会 HP)

5.1 観光者数推移

下のグラフ (図 5) よりいくつかわかる点がある。まず当麻町に来る観光客が夏 (特に 8 月) に集中している。これは当麻鍾乳洞の観光客増加や夏に収穫時期である、でんすけすいかやメロンなどを求めてきていることが予想される。また道内日帰りで帰る観光客が多いことがこのグラフからわかる。予想としては、隣町である旭川の観光客が多く、近場なので日帰りになる。当麻町の宿泊施設が充実していない (旭川などの宿泊施設が整っているところにとまる) など様々あげられる。もうひとつこのグラフからわかることがある。それは冬にかけての観光客が少ないことだ。それはニセコやトマムのようにスキー場などの冬のレジャー施設がなく、冬の観光客増加はなかなか難しい。またこの上川地方は冬がとても気温が低く、気候的にも恵まれていない。



(出典：北海道観光入込客数調査報告書より)

参照ページ

当麻町 <http://town.tohma.hokkaido.jp/>

でんすけすいか <http://www.densukesan.com/>

当麻鍾乳洞 <http://www.densukesan.com/html/ryuta.htm>

当麻産業別人口 <http://local.yahoo.co.jp/static/a101/a201454/outline.html>

上川支庁 <http://www.n43.net/city/kamikawa.htm>

知恵の環 <http://www.chie-no-wa.com/mana/detail.php?TwCode=14541>

北海道観光入込客数調査報告書

<http://kanko.pref.hokkaido.jp/kankodb/kz-ksnko-link/301.H15/H15-iriomi-tyousa-siryo.xls>

旭川統計 <http://www.hokkaido.info.maff.go.jp/center/asahikawa/gaikyo/index.html>